

第一席

こんぺいとう 第二十一号

愛知県立常滑高等学校

私たちは、毎週火、木、金曜日の週三日、小説、エッセイ、詩、短歌、俳句、川柳を創作しています。活動内容も様々な企画を考え、校内外で吟行をしたり、高文連主催の講習会やアートフェスタに参加したり、他校との交流会を楽しみながら、幅広く活動をしています。

常滑高校文芸部が誇る文芸部誌「こんぺいとう」は、様々な色や形があるこんぺいとうのように、個性豊かな作品を制作したいという想いから名付けられました。

今回の部誌は「楽園」をテーマに、「楽園とはなんだろう」「自分にとつての楽園とはなんだろう」と身の回りのことから、遠い遠い先の未来まで、四方八方に視野を広げて、何度も試行錯誤しながら、部員全員で創作と編集作業に励んでまいりました。

今年度の部誌には、新しいジャンルとしてシナリオの創作にチャレンジし、演劇部に演じて頂いた作品も載せてあります。



今後もし新しいことに挑戦し、そこで得た経験や失敗も制作の糧にして、よりよい作品づくりができるよう精進していきたいです。

部員一人一人の想いを込めた「楽園」をお楽しみいただけましたら幸いです。
(二年 木下 愛梨)

第二席

岡東文芸部誌 第八号

桜 — Cherry Blossoms —

愛知県立岡崎東高等学校

三年生が最後に作った部誌がこちらの「桜」です。学園物、というテーマのもと、小説、詩などを掲載しております。とても読み応えがあるものになっているかと思えます。

いわゆる「学生」と呼ばれる期間というのは、当事者にとってはとても長いものであるかのように感じられますが、人生全体で見えてしまえばほんの一瞬です。その一瞬を生きる私たちだからこそ見えるもの、描けるものがあると私は信じています。私たちの見た「一瞬」を切りとったこちらの部誌を、どうかお楽しみください。

(三年 入江 真凜)



第三席

AWAY 2023 AUTUMN

愛知県立豊橋西高等学校

豊橋西高等学校文芸部は、週に三回、俳句・短歌などの創作を中心に活動を行っています。言葉を使って表現する楽しさを大切にしながら、皆で切磋琢磨しています。

今回の「AWAY」では、世界観を統一したショート×ショートを含め、小説の量が普段の倍となっています。また、「豊橋今昔物語」と名を打った地元豊橋に注目した企画や、本校文芸部の卒業生をも巻き込んで、初句を揃えた連歌作品にも挑戦をしています。限られた部員数ながら、例年に負けない、読み応えのある作品たちに仕上がっていると思います。どうぞお楽しみください。

(二年 山口 詩織)

